

科目名	和声		科目ナンバー	MU-MA1307		
担当者 (実務経験名)	教授 井上 幸一					
履修期	専攻科 前期			卒業単位	選択 2単位	
免許・資格						
授業概要	西洋音楽の古典期に確立された音体系への理解を深め「響き」に対する感性を養うと共に、旋律課題や種々の和声連結の実習をとおして、楽曲を考察するための理論について学習する。					
到達目標	知識・理解	和声法におけるドミナント諸和音の公理及び一般的な連結と配置を理解できる。				
	思考・判断	理論と知識を楽曲分析に応用できる。				
	興味・意欲・態度	楽曲におけるハーモニーの展開を意識できる。				
	技能・表現	バス課題に基づきリアリゼーションができる。				
授業計画	授業内容			事前事後学習内容		時間 (時間/週)
	1	オリエンテーション、V7の和音の復習1		教科書p69～79を読む		4
	2	V7の和音の復習2		教科書p80～84を読む		4
	3	V9の和音の復習1		教科書p85～93を読む		4
	4	V9の和音の復習2		教科書p94～97を読む		4
	5	D諸和音の総括1		教科書p99～101を読む		4
	6	D諸和音の総括2		教科書P102～103の課題を実施する		4
	7	D諸和音の総括3		教科書p104課題28(1～4)を実施する		4
	8	D諸和音の総括4		教科書p104課題28(5～8)を実施する		4
	9	和声実習における原則的な公理1		教科書p112～115を読む		4
	10	和声実習における原則的な公理2		教科書p116～115を読む		4
	11	配置・連結の一般的可能性1		教科書p118～122を読む		4
	12	配置・連結の一般的可能性2		教科書p122～125を読む		4
	13	配置・連結の一般的可能性3		教科書p126～1127を読む		4
	14	配置・連結の一般的可能性4		教科書p127～129を読む		4
	15	配置と連結の総括		教科書p138～151を読む		4
成績評価方法		知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験	○	○			60
	レポート					
	課題	○	○	○	○	40
	実技					
	受講状況・態度					
	その他()					
フィードバックの方法	課題の実施と添削指導によって行う。					
教科書	「和声 理論と実習Ⅰ」島岡譲 他 著(音楽之友社)					
参考書	「和声と楽式のアナリゼ」島岡譲 著(音楽之友社)					
アクティブ・ラーニング	バス課題の実施において他者とのディスカッションをとおして取り組む。					
ICT活用	e-ラーニングサイト授業コースを活用する。					
メッセージ・備考	テキストを丁寧に読むとともに課題を繰り返し実施し、様々な連結パターンとその響きを感じ取りながら学びましょう。					
関連科目	無し					